

## 新連載

自動車リサイクル業界を  
担うホープ(6)

名前:岩永 奈央 (いわなが なお) (23歳)

所属:有限会社金森商会 生産部門

特技:スノーボード

MBTI:エンターテイナー型(人を楽しませる素質や美的感覚に優れており、好奇心旺盛で、常に新しい経験や刺激を求め、環境の変化にも柔軟に適応できる。細部まで注意を払えるので、クリエイティブな問題解決を得意としている)

— 仕事で誰にも負けない部分

部品等の梱包

— この業界の魅力を一言で

仲間で沢山いること

— 将来の業界への期待

中古部品の流通量をより増やして、  
地球環境保全に貢献すること

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。



## INDEX

【新連載】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 —— P.1

新仕様のJAMA方式一括作動処理ツールの販売が開始! —— P.2

【特集】資源回収インセンティブ制度を紐解くPart 5 —— P.3

未来部会主催・JAERA会員限定「ELV解体現場見学会のご案内」  
/JAERA会議報告 —— P.4

8月新車販売・使用済自動車発生台数 —— P.5

鉄スクラップ最新情報 —— P.6

行事予定・お知らせ / 編集後記 —— P.7

## 巻頭言

広報部会

永田 則男

いくらか秋の気配が感じられる今日この頃、スーパーに新米が並んでいるのを見ると幾分ほっとしました。ご存じの通り、つい先ごろまで米屋やスーパーの売り場から米が姿を消すという、いわゆる「令和の米騒動」が世間を騒がせました。インバウンドの拡大による米の消費量が増えたとの見方もあったようですが、我が田舎町に大勢のインバウンドがやって来て、米がなくなるほど食したとは思えません。

1973年にトイレトペーパーがなくなるという「トイレトペーパー騒動」がありましたが、これはデマ情報による買いだめが原因といわれています。この度の一件も物理的に米がなくなったというよりは、人間の集団心理が招いた騒動に思えてなりません。何はともあれ、米は日本人の主食、このことを改めて考えさせられた騒動ではなかったかと思えます。

02

## ▶ 新仕様のJAMA方式による一括作動処理ツールの販売が開始されました!

**JAERA会員の皆様はお得にご購入いただけます!!**

前号で告知したとおり、新仕様のJAMA方式一括作動処理ツールの販売が始まりました。

今回、自動車リサイクル機構（JAERA）も新たに販売代理店となり、**JAERA会員の皆様はよりお得な価格**でご購入することができます。

新仕様の一括作動ツールは、現場のニーズにしっかりと応えて、耐久性、耐水性、耐油性が更に向上しておりますので、この機会に、ぜひお得な価格でご購入ください。

### ■価格

通常小売価格 228,000円（税別）のところ

**JAERA会員 期間限定<sup>※</sup>特別価格：**

**77,000円（税別）**

非会員価格：97,400円（税別） 送料別途

JAERA会員の皆様には、77,000円（税別）という非常にお得な価格でお求めいただけます。JAERAの会員様以外の非会員の方も97,400円（税別）にてご購入いただけますので、この機会をお見逃しなく。

※キャンペーン分がなくなり次第終了

### ■詳細・購入申込書はこちら

<https://www.elv.or.jp/index.php?itemid=1928>

※注意 販売台数が限られているため1社あたり2台までの販売となります。転売禁止。

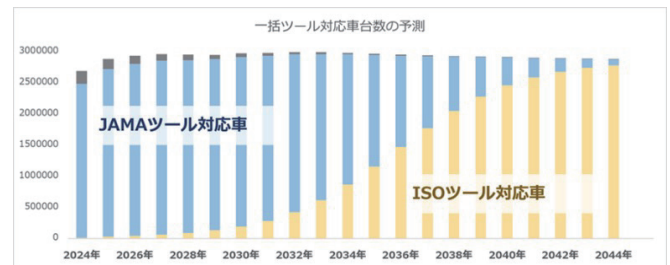


新JAMA方式一括作動処理ツール



### JAMA方式一括作動処理ツールについて

- ・現行のJAMA方式一括作動処理ツールは部品調達が不可となり継続生産が出来ないため、現在在庫限りで販売終了となります。
- ・2040年頃まではJAMA方式対応の使用済自動車が多く発生する予測から、耐久性の向上等仕様を変更し、同じ機能（JAMA方式）のツールを販売いたします。



※自動車再資源化協力機構ホームページ<車上作動処理→関連ツール>

詳細はこちら ▶

<https://jarp.org/productslist/airbag/>

【申込・お問い合わせ先】

一般社団法人日本自動車リサイクル機構

E-mail : [jaera-homepage@elv.or.jp](mailto:jaera-homepage@elv.or.jp) Tel : 03-3519-5181

## 03 ▶ 【特集】資源回収インセンティブ制度を紐解く (Part5)

### コンソーシアムとは何か、どんなパターンが想定されるか

資源回収インセンティブ制度（本制度）について正しく理解をする特集の第5弾! 前回はコンソーシアムとは何か? また組むことで何が変わるのかを解説しました。今回は解体事業者の皆様が本制度で深く関わるであろう「一次解体」「二次解体」についてフォーカスを当てていきます。

#### 【一次解体・二次解体とは】

前号でも解説したとおり

■ **一次解体＝使用済自動車（ELV）から樹脂部品を取り外す行為**

■ **二次解体＝その樹脂部品から異物を取り除く行為**

としています。ちなみに異物というのは汚れやゴミなどではなく、回収したい樹脂素材以外の部品などのことを指します。

バンパーで例えると、バンパーをELVから取り外すのが一次解体、そこからフォグランプやクリップなど取り除くことが二次解体となります。

右の写真は既に樹脂回収に取り組んでいるある事業者での作業の様子です。現場のスタッフが手作業でバンパーを外し、バンパーに付いている異物をクリップ外しやサンダーなどを駆使して除去しています。

なぜ、二次解体をする必要があるのか。それは回収する樹脂部品には再生可能な素材だけでなく、再生材の品質に悪影響を及ぼす異物がついており、再生利用するためにはこの異物を除去する必要があるためです。バンパーの例を出しましたが、内装材、例えばピラーやドアトリムなどの樹脂部品の裏にもクリップや不織布などが付いていたりします。ですので、樹脂をリサイクルするためにはこういった異物の除去（二次解体）が必要となってきます。

#### 【解体事業者はどこまで行うか】

本制度に参画した場合、解体事業者の皆様は一次解体を行っていただくことになります。

また、二次解体により、異物の除去という手間をかけることで、素材としての買取価格が高くなると考えられますが、現場の人員やスペースなどそれぞれの事情があるため二次解体自体が難しい事業者の方もいらっしゃると思います。その場合は一次解体のみ行った樹脂を引き取ることができる再生材事業者や二次解体のみを行う中間加工事業者などに引き渡すといったことも可能であると考えられます。要は二次解体まで解体現場で行うことができない事業者の方々も、上記の再生材事業者や中間加工事業者とコンソーシアムを組むことで本制度に参画することができるということです。

JAERAが現在行っている実証事業では、二次解体が難しい事業者の皆様も参画でき、かつ、効率的な運用ができるよう様々なパターンを想定して実証を行っています。



【一次解体】



【二次解体】

次号に続く!!

04

## 未来部会主催 JAERA 会員限定 ELV解体現場見学会のご案内～最先端の取り組みを学ぶ～

### 会員限定の見学会が開催されます。是非ご参加ください!

皆様いつもJAERA未来部会の活動にご協力いただき、ありがとうございます!

今回、使用済自動車(ELV)の解体・リサイクルにおける最新の現場や取り組みなどを学ぶことができる見学会を開催することとなりました!見学先は栃木県足利市にある株式会社エコアールです。同社は、効率のかつ精緻なELVの解体手法や資源循環の取り組みなど業界の最前線で活躍されております。

当日は現場の見学やスタッフの方からの詳しい解説、質疑応答の時間も設けてありますので、気になることはその場で質問していただけます。

なお、今回の見学会はJAERA会員限定となります。会員の皆様にとって、今後の取り組みに役立つ情報を得られるチャンスですので、ぜひご参加ください!

- 日 時:2024年11月29日(金)  
見学会 14:00～16:00
  - 場 所:株式会社エコアール(栃木県足利市)
  - 参加費:10,000円(税込)/人 ※懇親会費別
  - 定 員:30名(先着順)
  - 申込締切:2024年10月31日(木)
  - 集合場所:当日12:00 JR東京駅鍛冶橋駐車場  
(移動は全て貸切バス)
- ※19:00からJR東京駅付近で懇親会も予定しております。  
是非ご参加ください。
- 詳細やお申し込みは下記リンクよりどうぞ!  
[https://www.elv.or.jp/  
media/20/20240930-2024kengakukai.pdf](https://www.elv.or.jp/media/20/20240930-2024kengakukai.pdf)

05

## JAERA 会議報告

### 第2回理事会 —9月5日(木) WEB会議—

新体制後、初の理事会となった今回は組織の改革について焦点が当たった。“自動車解体業界が今こそ一枚岩になる必要がある”と石井新代表から説明があり、業界組織としての改革に対する意見交換が行われ、今後も継続して審議することとなった。また、JAERAがJAMA方式一括作動処理ツールの販売窓口となることについて共有が行われ、そのなかで会員であることのメリットの更なる創出についても提案や意見が挙がった。

### 第1回ブロック長会議(対面+WEB)—9月11日(水)東京都港区—

「各会員1社1社にキチンと情報が伝わるような意識を」という言葉がキーワードとなった。JAERA本部からの報告や内部で検討を進めている事項の共有、最新情報の提供などが行われるブロック長会議であるが、支部長をはじめ、支部に属する会員もJAERAが把握している上記の情報などがしっかり理解できる施策を考え、会員増強や退会数の減少に繋げていくべきと意見が挙がった。

### 北海道合同支部会議(対面+WEB)—8月30日(金)—

北海道の各支部から28社計34名が集まり、対面とWEBのハイブリット形式で行われた。会議では徐々に熱を帯びてきている“資源回収インセンティブ制度”について、「回収したプラスチックの汚れはどこまで許容されるのか?」や、「この制度に参画をしたいと思うが何から始めたらよいのか?」、「プラスチック保管場所についてどうするべきか?」など、制度参画を想定するなかで多くの質問が飛び交った。また、勉強会の要望など、更なる情報を欲する声も聞かれた。

## TOPIC —来場者が過去最高に—

### 石上車輛「自動車リサイクルまつり」開催

石上車輛(株)恵庭工場で毎年恒例の自動車リサイクルまつりが開催されました。普段見ることが出来ない広大な工場倉庫を開放し、車を安心安全に処理する工程の紹介、工場見学会や職業体験、無料縁日コーナーなど数々のイベントが行われ、会場は子どもや大人の笑顔で溢れていました。2日間で1,280組3,771人ものの方々に来場いただき、過去最高の来場者となりました。



まつりの様子

06

2024年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業  
8月出荷状況と今期累計

上段：8月出荷数 下段：今期累計 単位：個

| 参加会社数<br>(社) | プリウス20 | プリウス30 | プリウスα41 | レクサス<br>CT200H | アクア<br>/ヴィッツ | カローラアクシオ<br>/フィールダー | クラウンHV<br>GWS204 | クラウンHV<br>AWS210 |
|--------------|--------|--------|---------|----------------|--------------|---------------------|------------------|------------------|
| 19           | 6      | 23     | 1       | 0              | 22           | 0                   | 0                | 2                |
| 57           | 71     | 305    | 3       | 1              | 268          | 2                   | 5                | 7                |

| SAI/レクサス<br>HS250H | 日産デュトロ<br>/ブルーリボン | ノア/ヴィクシー<br>/エスファイア | シエンタHV | プリウス50 | プロボックス<br>サクシード | マツダ<br>アクセラ | 不良品A~C | 合計  |
|--------------------|-------------------|---------------------|--------|--------|-----------------|-------------|--------|-----|
| 1                  | 1                 | 0                   | 0      | 0      | 0               | 0           | 20     | 76  |
| 3                  | 5                 | 6                   | 3      | 5      | 0               | 0           | 84     | 768 |

2023年度の結果はこちら ▶

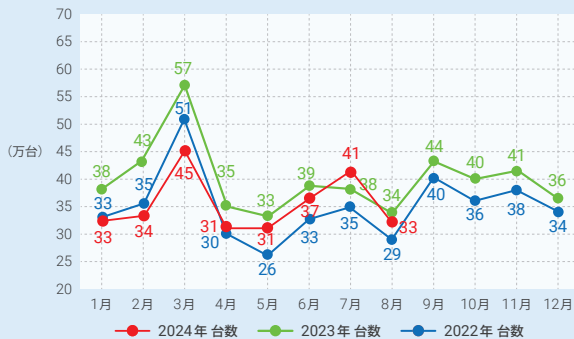
<https://elv.or.jp/index.php?itemid=1906>

07

8月新車販売・使用済自動車発生台数

2024年8月度 新車販売台数 328,471台 (前年同月比96.5%)

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会



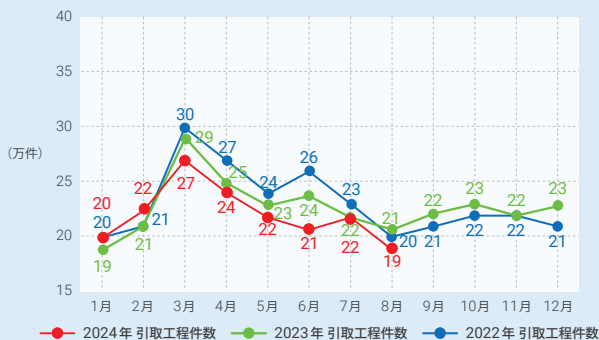
新車販売の月別推移 (2024年 2023年 2022年)

過去の新車販売台数推移

| 年累計             | 台数        | 前年比 (%) |
|-----------------|-----------|---------|
| 2024年<br>(8月まで) | 2,861,136 | 90.3    |
| 2023年           | 4,779,086 | 113.8   |
| 2022年           | 4,201,320 | 94.4    |
| 2021年           | 4,448,340 | 96.7    |
| 2010年           | 4,598,615 | 88.5    |

2024年8月度 使用済自動車引取 (電子マニフェスト) 実施状況

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター



使用済自動車引取件数の月別推移 (2024年 2023年 2022年)

引取件数

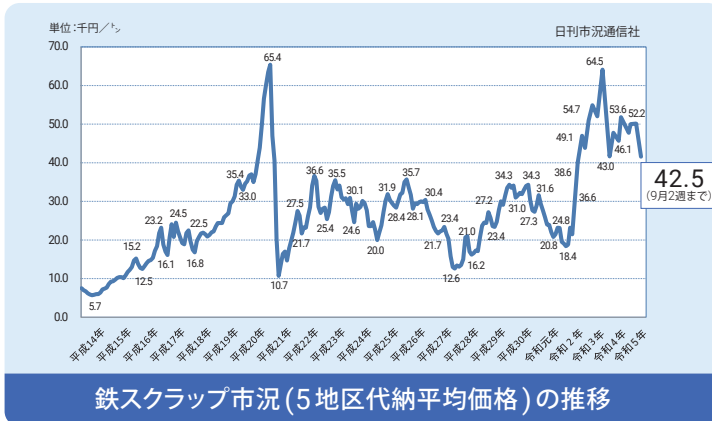
|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 8月      | 187,584件 (前年同月比91.1%) |
| フロン回収工程 |                       |
| 8月      | 168,097件 (前年同月比91.2%) |
| 解体工程    |                       |
| 8月      | 193,386件 (前年同月比91.6%) |

## 08

## 鉄スクラップ最新情報

[ 提供：日刊市況通信社 ]

## 9月第3週（19日）の鉄スクラップ動向



9月19日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

|     |     | H2              | 気配 |
|-----|-----|-----------------|----|
| 関東  | 北関東 | 39,500 ~ 40,500 | 続落 |
|     | 南関東 | 39,500 ~ 40,500 | 続落 |
|     | 浜値  | 36,000 ~ 38,000 | 続落 |
| 名古屋 |     | 40,000 ~ 42,000 | 続落 |
| 関西  | 大阪  | 41,500 ~ 42,500 | 続落 |
|     | 姫路  | 40,500 ~ 42,000 | 続落 |

## 国内市場 内外で弱要因重なり軟調推移

国内市場の鉄スクラップ市況は依然として軟調な相場展開を続けている。7月中旬からの下げ相場が2カ月以上にわたって続いているものの先安観が根強く、市中間屋筋の出荷姿勢は強いまだ。一方で、需要家筋は鋼材市場や鉄スクラップ輸出市場の不振を受けて引き合いが弱い。市中発生は低調だが、需要減のため、国内全域で荷余り感が残る状況となっている。

国内電炉各社は夏季減産期を終え、生産が回復する時期を迎えている。しかし、国内では建設工事の遅延、海外では中国の鋼材輸出増などを背景に、内外とも鋼材需要が冴えず、生産が伸びていない。東京製鉄が17日、鋼材販価を全品種10,000～15,000円値下げするなど、鋼材相場も下落する動きとなっている。

また、日本産鉄スクラップの輸出市場も新規商談の停滞が続いているうえ、為替相場の円高進行もあって、輸出商談価格も続落する展開だ。

中国向けスポットの鉄鉱石や原料炭価格も軟調な推移を続けており、国内高炉の原料四半期契約も値下がり。10～12月の鉄鉱石、7～9月の原料炭はともに前期比で8%下落した。為替相場の円高傾向もあって、高炉筋の溶銹コストは3期連続で値下がりする見通しだ。鉄スクラップにとって内外で弱要因が重なっている。

## 関東 H2相場4万円前後で軟調 浜値が先行安

関東電炉は夏季減産期を終えたものの、鋼材需要の不振を受けて減産傾向にあり、鉄スクラップ需要量が伸びない状況だ。また、湾岸商社・シッパー筋も、輸出不振が続いているため集荷に消極的で、H2浜値は電炉購入価格に先行して値下げしているほか、電炉筋と同様、荷止対応も見られる。関東地区のH2炉前実勢価格は39,500～40,000円中心、高値40,500円見当。H2浜値は36,000～37,000円中心、高値37,500～38,000円見当。

## 東海 依然として弱含み 下振れ懸念残る

名古屋地区の市況は、依然として弱含み気配にある。国内相場は7月以降の断続的な値下げに歯止めがかからない状況にある。域内でも7月13日からの東京製鉄田原工場の値下げ改定を皮切りに値下げが繰り返されており、同工場の特級価格は直近高値にあった7月12日の52,000円から足元は42,000円と、約2カ月の間に10,000円値下がりしており、なお下振れ懸念が残る。H2炉前実勢価格は40,000～42,000円中心。

## 大阪 高値メーカー中心に下げ圧力残り弱含み

大阪地区の鉄スクラップ市況は軟調気配にある。9月19日からも電炉3社による追加値下げが行われており、需要減退と輸出商談の停滞により、市況は先安気配を払拭できない環境が続いている。実勢圏が安値に寄っているため高値提示の電炉筋にとってはなおも値下げに動きやすい環境にあり、市中の先安警戒は緩まる気配にない。H2炉前実勢価格は、大阪地区が41,500～42,500円中心。姫路地区が40,500～42,000円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、9月13日午前時点のもの)

## 09 お知らせ

## 自動車リサイクル士新規講習会 ～修了試験がはじまります～

新たに資格を取得される方向けの自動車リサイクル士新規講習会の修了試験が10月から全国8会場で順次開催されます。

当日、試験会場で受付の際には、お申込み時にメールでご案内している「受講票」の提示が必要となりますのでご準備をお願いいたします。（印刷された受講票の提示、もしくは、スマホなどで受講票データの提示でも構いません）

なお、**当日試験をご欠席される場合は、会場ではなく当機構事務局（TEL：03-3519-5181）までご連絡ください。**皆様のご健闘をお祈りします。皆様のご健闘をお祈りいたします。



昨年の試験の様子

ご案内 ▶

<https://www.elv.or.jp/media/20/20240708-2024sinkiannai2.pdf>

※詳細はご案内の2と6をチェック!

## 編集後記



今、私の住む福島県では、ナッジ理論に基づく社会実証に取り組んでいます。ナッジ(Nudge)とは英語で「そっと後押しする」という意味で、ナッジ理論は強制や命令、指示ではなく、選択の余地を残しながらより良い方向へ導く行動科学です。さりげなく勧められたほうが、率先して動きやすくなるという人間の心理に着目した政策手法として知られています。

今回の社会実証は県内で盗難被害の多い駐輪場で行われています。自転車の持ち主に施錠を強制するのではなく、それを促す文言が書かれた看板や横断幕を設置することで盗難件数が改善するかを検証しています。例えば「この駐輪場では90%以上の方が鍵をかけています」などといった文言で、計4種類あるそうです。どのような結果が出るのか楽しみであり、期待したいところです。

人間、目標を大きく持ちすぎたり難しすぎると、いつまで経っても目標達成が叶わず疲れてしまう時があります。子どもが陽気なのは日々の小さな目標を達成しているからであって、「朝ごはんをしっかり食べることができた」、「夜早く寝ることができた」など、こんなことで十分です。

私達もあれが出来なかったこれも出来なかったと落ち込むより、毎日小さな目標でもコツコツ成し遂げて、明るく毎日を過ごしていきたいものです。

広報部会長 田村 幸男

## 10 月の主な行事予定

8日(火) | 第7回広報部会 (WEB)

| J-FAR (エアバッグ布等リサイクルのための基盤づくり) 定例会 (WEB)

17日(木) | J-FAR (資源回収インセンティブ実装事業) 定例会 (WEB)

25日(金) | 関東ブロック会議 (対面+WEB)

<自動車リサイクル士講習会 試験日程>

10/ 9 (水) 札幌会場 | 10/11 (金) 仙台会場 | 10/18 (金) 東京会場

10/22 (火) 岡山会場 | 10/23 (水) 大阪会場 | 10/24 (木) 名古屋会場

10/30 (水) 福岡会場 | 11/1 (金) 沖縄会場

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

編集・発行責任者

一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 田村 幸男

お問い合わせ先

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目11-3 虎ノ門アサヒビル3階  
TEL:03-3519-5181 FAX:03-3597-5171 MAIL:jaera-homepage@elv.or.jp HP:https://www.elv.or.jp

